議事日程（第2日）

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 議案第5号 北方町情報公開及び個人情報保護に関する条例等の一部を改正する条例制定
について (町長提出)
- 第3 議案第6号 北方町記号式投票に関する条例を廃止する条例制定について (町長提出)
- 第4 議案第7号 北方町職員定数条例の一部を改正する条例制定について (町長提出)
- 第5 議案第8号 北方町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例制定につい
て (町長提出)
- 第6 議案第9号 北方町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正す
る条例制定について (町長提出)
- 第7 議案第10号 北方町税条例及び北方町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
制定について (町長提出)
- 第8 議案第11号 北方町税条例等の一部を改正する条例制定について (町長提出)
- 第9 議案第12号 北方町リサイクルセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条
例制定について (町長提出)
- 第10 議案第13号 平成28年度北方町一般会計補正予算（第6号）を定めるについて
(町長提出)
- 第11 議案第14号 平成28年度北方町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を定めるについ
て (町長提出)
- 第12 議案第15号 平成29年度北方町一般会計予算を定めるについて (町長提出)
- 第13 議案第16号 平成29年度北方町国民健康保険特別会計予算を定めるについて
(町長提出)
- 第14 議案第17号 平成29年度北方町後期高齢者医療特別会計予算を定めるについて
(町長提出)
- 第15 議案第18号 平成29年度北方町下水道事業特別会計予算を定めるについて (町長提出)
- 第16 議案第19号 平成29年度北方町上水道事業会計予算を定めるについて (町長提出)
- 第17 議案第20号 平成29年度北方町南東部開発事業特別会計予算を定めるについて
(町長提出)

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第17まで

出席議員 (9名)

1番 村木俊文

2番 松野由文

3番 三浦元嗣
5番 安藤哲雄
7番 鈴木浩之
10番 井野勝巳

4番 杉本真由美
6番 安藤巖
8番 安藤浩孝

欠席議員 (なし)

欠員 (9番)

説明のため出席した者の職氏名

町長	戸部哲哉	副町長	奥田克彦
教育長	名取康夫	総務課長 兼防災安全課長	奥村英人
税務課長	加藤章司	教育次長	有里弘幸
住民保険課長	臼井誠	福祉健康課長	林賢二
健康づくり担当課長	大塚誠代	都市環境課 技術調整監 兼上下水道課長	牛丸健
都市環境課長	山田潤	会計室長	堀口幸裕

職務のため出席した事務局職員の氏名

議会事務局長	安藤ひとみ	議会書記	山田彰紀
議会書記	堀創二郎		

○議長（井野勝巳君） おはようございます。

大変御苦労さまでございます。

あしたで東日本大震災から6年たったようでございますけれども、今なお復旧・復興が進まないということが連日テレビで最近またやっておりますけれども、本当に仮設住宅なんかでまだ生活を余儀なくされている家族も多くおるようでございます。改めて大震災の破壊力とか脅威を感じるとともに、被災された方々に改めてお見舞いを申し上げたいと思います。

それでは、ただいまから平成29年第3回北方町議会定例会第2日目の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（井野勝巳君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において、4番 杉本真由美君及び5番 安藤哲雄君を指名いたします。

これから質疑を行います。所属する委員会に付託が予定されている案件につきましては、極力質疑を抑えていただいて、委員会における審査をお願いしたいと思います。

日程第2 議案第5号

○議長（井野勝巳君） 日程第2、議案第5号 北方町情報公開及び個人情報保護に関する条例等の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 1点、お尋ねいたします。

この条例の中で、最初のページの第2条のところの5、これらの規定を番号法第26条において準用する場合を含むというふうになっておりますけれども、具体的に準用するというのはどんな内容なのか、お教えいただけませんか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 26条の中で、21条1項から前条例までの規定は、第19条8号の規定による条例事務関係情報照会者による特定個人情報の提供の求め及び条例事務関係情報提供者による特定個人情報の提供について準用するという形になっておりまして、26条のほうでは19条の8号の規定によって、特定個人の情報を求める場合は、条例事務に関しても19条の8の規定により提供を求めることができるというものでございます。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 具体的にどんなことなんでしょうか。中身については。例えば、こういう

情報、こういう情報という、準用される情報の中身はいかがでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） これは、今までですと国関係に関する個人情報については、サーバーのほうへ個人情報を見に行けたわけなんですけど、今回はこの条例、条文ができたことにより、個人情報の関係を条例事務で定めた個人情報、例えば北方町が独自に施策として打っているような条例の中、幾つか先般条例のほうで、個人情報の関係で上げさせていただいた条例事務について、それも個人情報をサーバーのほうへ町のほうが見に行ってそれで審査をするという事務ができるということになるわけなんですけど、要は町の条例で定めたものは、今までですと、個人の了解を得て、個人さんから情報をもらうという形だったんですけど、それをしなくても今度は連帯サーバーのほうへ情報を見に行き、情報の提供を受けることができるというものでございます。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 趣旨はよくわかりますので、問題は例えば税の情報だとか、具体的に何の情報を得ることができるようになるわけでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 一般的には、私どもで使うのは、所得関係、税条例関係、そちらのほうが多くはなると思います。所得制限によって手当が支払えないとかそういうものもありますので、一般的に見るものとしては税条例の今の所得関係とかそういうものが一番多くなるだろうということは思います。

○議長（井野勝巳君） そのほかございませんか。

[挙手する者なし]

○議長（井野勝巳君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第5号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第5号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第3 議案第6号

○議長（井野勝巳君） 日程第3、議案第6号 北方町記号式投票に関する条例を廃止する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

ございませんか。

[挙手する者なし]

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第6号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第6号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第4 議案第7号

○議長（井野勝巳君） 日程第4、議案第7号 北方町職員定数条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第7号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第7号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第5 議案第8号

○議長（井野勝巳君） 日程第5、議案第8号 北方町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第8号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第8号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第6 議案第9号

○議長（井野勝巳君） 日程第6、議案第9号 北方町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 今回、この中で新たにいじめ問題対策連絡協議会委員の日額といじめ問題調査委員会の委員の日額が新たにつけ加えられたわけですが、いじめの問題というのはかなり前からいろいろ問題になっていましたけれども、いじめ問題でいろいろと情報を隠蔽する、そしてそれが法律的な問題になるということが最近よくあることで、いじめ問題調査委員会の設置というのは今回新たに出されて、なるほどというふうに思うわけですが、いじめ問題対策連絡協議会委員ということですね、これはいじめの問題はかなり以前から存在していますので、今までこのような対策を行うような会議が開かれていたのか、そして今回なぜ今回にこれが設定されることになったのかというのを、その辺のちょっと経過をお教えいただけましたらと思います。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） いじめ防止対策推進法は平成25年6月にできまして、その中で第12条においては、地方公共団体はこういった協議会を設けるということについて「努めるものとする」とありまして、13条で「学校は方針を定めるものとする」ということで、学校は定めなくてはならないということで、25年のときに学校は基本方針を定めて、今までそれで運用してきました。

これまで、そういったいじめの中で重大と思われるような事案につきましては、教育委員会のほうで定例協議の中で報告をし合っているいろいろと解決の道を図ったりしてきたんですけれども、最近昨今、なかなか解決の難しいいじめ問題が全国的に発生しておりまして、そういった問題に対して、まずは学校が基本方針に沿って対応するんですけれども、その次に第三委員会に行くまでの間に教育委員会がやっぱり責任を持って調査をしたりとか対応しなくてはいけないということで、その教育委員会の組織がいじめ問題対策連絡協議会にして、それをきちっと立てることによって、学校が困ったときまず教育委員会で調べ、調査し、対応し、それでもなかなか保護者等から理解が得られない場合については第三ということ、その間の部分の組織としての問題対策連絡協議会がありまして、これは実質的に調査をするところなんですけれども、日ごろ警察関係であるとか、弁護士の方であるとか、全く連絡をとらないで、いきなり問題が起きたら調査するというわけにいきませんので、年2回は連絡をとりあって、お互いに情報交換であるとかそういうことをしていこうというのがこの会の趣旨であります。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） それでは、今まではいじめ問題対策連絡協議会が行っているようなことを、教育委員会の中で行っていたということでしょうか。それを、それでは十分カバーできないので、弁護士さんとかこういった専門のスタッフも加わっていただいて、対策連絡協議会を行うということになったのでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 議員が今おっしゃられたとおりで、教育委員会の中でやっておりましたけれども、やっぱりいじめの被害に遭った心情であるとかというのは精神科医も要るでしょうし、暴力事件を受けた人は警察も要るということで、教育委員会だけではやはりなかなか対応し切れ

ない部分もあるのではないかということで、今回、今まで教育委員会の中でやってきたことを問題対策連絡協議会という組織に広げてやっていこうという趣旨でございます。

○議長（井野勝巳君） よろしいか。

ほかございますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） では、質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第9号については、総務教育常任委員会に付託をしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第9号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第3 議案第10号

○議長（井野勝巳君） 日程第7、議案第10号 北方町税条例及び北方町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第10号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第10号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第8 議案第11号

○議長（井野勝巳君） 日程第8、議案第11号 北方町税条例等の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第11号については、総務教育常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第11号は総務教育常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第9 議案第12号

○議長（井野勝巳君） 日程第9、議案第12号 北方町リサイクルセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第12号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第12号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第10 議案第13号

○議長（井野勝巳君） 日程第10、議案第13号 平成28年度北方町一般会計補正予算（第6号）を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第13号については、各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第13号は各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第11 議案第14号

○議長（井野勝巳君） 日程第11、議案第14号 平成28年度北方町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第14号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第14号は厚生都市常任委員会に付

託することに決定いたしました。

日程第12 議案第15号

○議長（井野勝巳君） 日程第12、議案第15号 平成29年度北方町一般会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案理由の説明が終わっておりますので、これから歳入と歳出に分けて質疑を行います。

質疑のときは、ページ数を言っていただきたいと思います。

最初に歳入の部分についての質疑を行います。

三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 1ページ目のことについてお尋ねいたします。

配当割交付金と、それから株式等譲渡所得割交付金のほうが、本年度大幅に減ることになっていきます。これは何か制度的な変更があったのかと思われまじけれども、どのような変更に基づいてこれが変わっているか。

あるいは、またこうした変更が行われた場合、大概それを補充するような形で、どこかである程度ふやしていただける項目が出てくるんじゃないかと思うんですが、その辺の関係も含めてお答えいただけましたらと思います。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 制度改正ということではなしに、今の配当割とか株式譲渡割というのは、株式の配当が少ないということと、あとは株式の売買による譲渡の所得が少なかったことにより、私どもに配当されるお金のほうが少なくなっているということで、制度が変わったというものではございません。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 念のため確認いたしておきますが、例えば株式の譲渡所得割交付金なんかは、昨年度2,100万円であったものが600万円に減っていますよね。約3分の1ぐらいですか、そんなに大きく変動があったということでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） これは、まず県とか国のほうから来年度の収入見込みという形で、こういう形でお金が出てまいる金額ですので、多分今年度の歳入としては、今の歳入が入ってこないだろうと。最終的にはこの予算額に組んである収入だけは見込めなくなると思います。

○議長（井野勝巳君） 歳入部分、よろしいか。

[挙手する者なし]

○議長（井野勝巳君） 歳入については、以上で質疑を終わりたいと思います。

歳出について質疑を行います。

安藤君。

○8番(安藤浩孝君) それでは38ページ、委託料13、101の庁舎総合管理業務委託料ということで、476万3,000円計上されておるんですが、昨年の5月6日に大屋根の下に人々が集う開放的な新庁舎としてオープンしたわけですが、たしか今年度は263万1,000円ということでありまして、新年度476万ということで、2倍近く委託料がふえておるんですが、当然、前の旧庁舎から比べるとおよそ2.4倍ということで、かなりふえています。エレベーター等、いろいろ管理するべきものがふえておるんですが、ただ、今年度と比べて2倍近く上がるということは、何らか増額する部分があるかと思いますが、そのあたりについてお尋ねしたいと思います。

○議長(井野勝巳君) 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長(奥村英人君) 確かに金額的には大きくなっておりまして、前年度は新庁舎ができたばかりということで、清掃委託料のほうを年1回程度という形でお願いをしていたわけなんですけど、ことしに入りましてから2年目ということで、床掃除とかそういうものを年2回、去年は1回やっただけなんですけど、ことしからは年2回にふやしたということがありまして、その清掃管理の委託料のほうにふえてきたということでございます。

○議長(井野勝巳君) 安藤君。

○8番(安藤浩孝君) となると、清掃委託料が上乘せになったということですね、1回分。だから、そのくらいの金額がかかるということなんです、200万近い金額が。そういう理解でよろしいですか。

○議長(井野勝巳君) 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長(奥村英人君) おっしゃられるとおり、まず今までの床と違いまして、カーペット床ということで、それを今までですと普通にワックスをかけるだけで済んでいたわけなんですけど、今度はじゅうたん関係とか、そういうフロアカーペットは全部洗浄して、それを吸い上げて清掃するというような形になりますので、清掃費のほうにちょっと金額的には高くなります。

○議長(井野勝巳君) 安藤君。

○8番(安藤浩孝君) すぐ下のページ、39ページでありまして、公共交通に3つぐらい出ておりましたので、3問続けてさせていただくんですが、まず39ページの役務費の101バス券購入費963万1,000円、それから使用料及び賃借料、高齢者のタクシー借り上げ料336万円、それからその下の交付金、111バス路線維持補助金510万というふうにありますので、ちょっと公共交通の話ばかりですので、3つ立て続けに御質問をさせていただきたいんですが、1つずつお答えのほうだけよろしくお願ひしたいというふうに思います。

まず、高齢者のタクシー借り上げ料336万円出ておりますが、これは岐阜大学病院の区間についてのタクシー料金の助成というふう聞いておりまして、きょうもまたちょっとアンケートのこれを持ってまいりましたが、これにもしっかり岐阜大学のほうに何とかバス路線をとというような要望がかなり高かったという中で、こういったタクシーの借り上げということを出していただいております、大変評価する施策ではないかというふうに私は思っておりますが、その中で

よっとお聞きしておきたいんですが、1点目、まず1世帯当たりの助成2万4,000円、これの根拠、どのような根拠で出されたのか。

2点目、運用ですね、これをどのようにして運用されていくのか、この2点について御答弁をお願いします。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） まず、金額2万4,000円につきましては、総合病院ということで、定期検診とかなんかに行かれる方は月1ぐらいだろうということで想定をさせていただきまして、月1回の往復の1,000円ずつの助成という形で、2,000円の助成をさせていただくと。その12カ月分ということで、2万4,000円という金額を出させていただいております。

あと、運用方法につきましては、日タクと本巢タクシーに限定になりますが、そちらのほうのタクシー業者のほうと協定を結びまして、チケット制の24枚つづり、4月に来ていただければ24枚つづりのチケットを渡しまして、そのチケットには岐阜大学、北方というチケットになっておりますので、それを出していただければ、1,000円の料金が割引されて、後、タクシー会社のほうから私どものほうへその利用者の請求が来て支払いをするというような形になろうかと思えます。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○8番（安藤浩孝君） 1,000円という数字を出されましたが、私も市民病院のほうは今チャージ分、お年寄りの方3,000円いただいております。これを、年間で今400円くらいかかりますので、それを差し引くと、自前分が大体68.7%、今度のタクシーの67%ということで、大体いい数字を出されたのかなど。公平性が非常に保たれておるのではないかというふうに、私もちょっと計算して出しました。いい金額だったのではないかと思っています。

それで、あともう一点、運用についてお聞きしたんですが、大変心配しておったことが1つ安心なものになったんですが、それと関連して、今のちょっと上へ上がりますが、バス券購入費、役務費、これにちょっと飛びますね。963万1,000円、これのほうにちょっと話を転換させていただくんですが、この場合は、70歳以上、1,850人が予算に上がっております。550万ということで上がっておりますが、私の知っておる人、うちもおばあちゃん、ちょっと昨年亡くなりましたが、ためるのがうれしくてしょうがない人もおるんですよね、こういう高齢者の方で。安藤さん、私アユカカードすごいよ、2万幾らあるんやよと。すごいねそれはという話も時々するんですが、これたしか上限が2万円ということであったんですが、これを導入してもう7年、8年ということで、2万円全然使わずにやられる方、超す方がひよっとしたらもう見えてくるのではないかなあとと思いますが、その辺の対応、ひよっとして2万円上限ぐらい持ってみえる方、また3,000円チャージをお願いしますよと言ったときの対応、その辺をどうされるのかというようなことを1点お聞きします。

それから、このアンケート調査にもちょっといろいろ出ておりましたが、やっぱり必要な人にこれを使っていたかんと、やはり利用促進ですので、本当にさっきの話じゃないけど、どんど

んためるだけでは、これ何にも意味がないんで、このあたりを上手に運用できないのかなというふうに、私いつも思っております。

それで、つい先日も岐阜新聞にも出ておりましたが、やっぱり今のこの社会、買い物難民だとかいろんな方がお見えになるんで、例えばお年寄りの方にはバスのチケット2,000円分にかえるだとか、選択していただくとか、そういうアイデアもちょっと浮かんでくると思いますんで、今度これは検討すべきことだと思っておりますので、その辺ちょっとお聞きをしていきたいと思えます。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 私どもも議員と同様な考え方をしております、現在積み増しに来られる方もお見えになるわけなんですけど、その方でも2万円の上限に達してみえる方が見えまして、使っていただかないとちょっとチャージはできませんよという形でお帰りはいただいているというのが現状でございます。

その辺も今後含めて、今のバスの利用促進ということも含めまして、将来的には一部負担とか、何らかの方法を考えながら、来年度また議会のほうとも相談しながら、新たな施策を考えてまいりたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○8番（安藤浩孝君） バス路線維持補助金510万についてちょっとお聞きしたいと思えますが、これは御承知のように、大野・穂積線沿線2市2町で、岐阜バス、バス事業者への赤字補填をするということで、本町の負担が510万ということですが、今現在北方町に乗り入れしております6路線のうち唯一補助を出しておる路線ということですが、再三再四利用者が少ないということで、いろいろ諸問題が今出たおって、2市2町で何とかせないかんということで今やっておるんですが、穂積駅から名古屋へ向かうということで大変重要視された路線でありますので、各市町もまちづくりの一環として今捉えておるのではないかとこのように思っています。

そこでお聞きしますが、この2市2町の広域公共交通、今負担していますが、各市町の負担割合、わかれば今教えていただきたいなと思えます。これが1点。

それから2点目に、2市2町の公共交通の連絡会議において、今年度アンケート調査を各市町でやられたと思えます。大野町、瑞穂市、本巣、北方も含めて。その中でアンケート調査をした結果、ことし町長の提案説明の中にも出ておりますよね、2市2町広域公共交通連絡会議を立ち上げ、幹線バスの導入に向けた実証実験などの検討を行ってまいりますというような文言が今回出ておるわけですが、たしか去年は3,672万、2,200万分が広域の連携分として計上されておったんですが、今回これ、どこを見ても予算の中に実証実験に向けた導入を何とかやるというようなお話なんです、ちょっと予算が出ていないんで、これはどういう形で進められるのか、これ2点目お聞きします。

それから3点目、実証実験等がこれから今後進んできますと、これはやっぱり法律に基づく法定協議会というものが必要なんですが、今北方町にあるのはただの協議会ということございま

すが、1つステップアップするには、そういったものをしていかないと進んでいかないと思うんですが、そのあたりを含めてこの3点お聞きしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） まず、バス路線の大野・穂積線の負担金でございますが、おのおの定額、距離割3割、利用者割7割ということで、負担金を出しているわけなんですけど、26年よりこの路線も国と県の補助が受けられるようになりまして、負担金割合は若干減ったかなと思うわけなんですございますが、27年度につきましては、予算ベースでは510万ほど予算をさせていただいておりますが、実質といたしまして28年の7月から28年の9月の利用者、これを換算して計算していただいたところ、今年度の私どもの支払い金額としては478万6,000円という形で減ってきたというのが実情でございます。

予算は、前年度27年度の利用者をもって予算化しておるわけなんですけど、27年度的时候は大野町のバスの利用者がぐっと一遍に800人ぐらい減ったわけなんです。それに伴って、大野町の負担割合が減ったというような形になったわけなんですけど、今度28年度の実質に入りましたところ、また1,000人ほどふえたことによって、私どもの負担金が減ってきたというような実態でございます。

それと、アンケート調査のほうは、議員御指摘のとおりアンケートをやって、終わって今回要望の多かった穂積線、こちらのほうを何とか増便をしようという形で、今は2市2町のほうで協議を進めておる段階でございます。今年度3,600万ほどの予算をいただきまして、2市2町のお金を合わせて調査をさせていただきました。それで、来年度予算が上がっていないということでございますが、それにつきましては来年度同じようにこのまま協議会のほうを立ち上げ、実証実験をするのかしないのかという結論も含め、実証実験に向けて一応協議を進めていくと。その間に、また岐阜バスさんとも話し合いをしながら、1路線ふやすことによって人員確保、車両確保とかそんなような問題もございまして、バス路線を1路線ふやすとなると、今の陸運局への届け出、そういうものがございまして、やるということになればそちらのほうの手続を今年度進めながら、協議ということで今年度は予算を組んでおらないのが実情でございます。

あと、法定協議会を立ち上げるということでございますが、法定協議会を立ち上げれば、当然今の県、国の補助という形で補助金をもらうという形になるんですけど、今回私どもが考えている補助金というのは、実証実験という形で地方創生の加速化交付金のほうで50%補助がいただけるんで、そちらの補助をとりながら実証実験をやりたいなということで、一応地方創生のほうに加速化交付金のほうでやっていくということで、法定協議会がなくても補助対応はできるのかなということで、本格運用になる前には当然法定協議会を立ち上げて、また国、県の補助をいただきながら、路線が維持できるかどうかという検討も必要かと思いますが、今のところはまだ法定協議会まで立ち上げるという予定はございません。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○8番（安藤浩孝君） 総務課長のほうから2市2町の取り組みを今お聞きしたんですが、正直言

ってほっとしましたのが、大野町が1,000人近くまたふえたということで、やっぱり2市2町連携して、しっかりスクラム組んで、この路線を本当に大事な路線だから絶対に残そうねというようなことから、こういった1,000人ふえたという結果になっておると思います。

たしか大野町のほうも、アユカカードとかいろんなことを、子供たちの今通学の補助も手厚く昨年あたりからやってきておるんで、そういった結果が出てきたんではないかと思しますので、引き続き2市2町、しっかり連携をとって、この路線をいいバス路線にしていきたいと切に願うということで、以上で終わります。

○議長（井野勝巳君） そのほか。

鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） それでは、一般会計予算について何点かちょっとお尋ねをしたいと思いません。

予算書のページ数、この後申し上げますが、まずいただきました説明資料の6ページが見やすいので、この6ページの予算の節別一覧表ということで、7番の賃金についてお尋ねをさせていただきます。

今現在、いろいろ人件費を削減する中におきまして、総務費から教育費まであるわけですけど、私がお尋ねできるのは総務費と教育費ということで、3つほどありますが一括でお聞きをしたいと思いません。

一番右のトータル差し引き増減額というところで、1,198万4,000円の増ということになっておりますが、まず予算書の34ページ、一般管理費の節07賃金、102の障害者就労支援雇用賃金ということで143万6,000円でございますけど、これは前年度比3万7,000円の増ということになっておりますけど、まずこの内訳を1点教えてください。

次に40ページです。同じく総務ですので。

40ページの交通安全対策費、同じく07賃金の101の人夫賃3万6,000円。これはどういうものなのかお聞きをいたします。

もう1点でございます。

42ページ、税務総務費の07賃金、101臨時職員賃金ということで417万8,000円をまず総務費の所管からお聞かせください。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） まず、34ページの賃金でございますが、障害者賃金につきましては、最低賃金、こちらのほうでやらせていただいているんですけど、先般10月だと思えますけど、10円上がりましたので、それに伴って賃金改定したことにより、賃金が上がっております。

それと、40ページの人夫賃でございますが、この交通安全対策費の3万6,000円は、今の草刈りをしていただいたりとか、そういう安協の方に草刈りをしていただいて、交差点の見にくいところがあるとか、カーブミラーが見にくいとか、そんなようなところがありましたら、安協の方

が草刈りをしていただくということで、その人夫賃として3万6,000円。

税務の臨時職員につきましては、これは今現在産休、育休に入っておる職員がおりますので、そういう方の賃金としてふえておるといところがございます。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） 40ページの安協さんの草刈りというのは、要は20というと1人分ということとよろしい。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 1人分ということじゃなしに、時間単位でお支払いをしているお金になりますので、1人分ということじゃなしに、皆さんが出てきて1時間とかそういう形でやっていただいたときの賃金としてお支払いしているということで御理解をお願いします。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） ありがとうございます。

では次に、教育費の賃金についてお尋ねします。

83ページ、事務局費の07賃金、108、これも人夫賃ということですので、これもお教えてください。

それから97ページ、学童保育費、07賃金、101学童保育指導補助員賃金、これは何人分なのか教えてください。

もう一点、98ページ、図書館費、07賃金、101、これも臨時職員賃金610万1,000円ということで、以上の3つ順次聞かせてください。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） まず83ページの賃金、事務局費のほうの賃金、人夫賃なんですけど、これは各学校のほうで何か修理が必要になったときに、お願いをしている人がいまして、その方に対する賃金として事務局費のほうで一括で10万円ということで上げさせていただいております。

そして、97ページの学童保育の賃金のほう1,679万円ですが、これにつきましても、人数ですけど、今、学童保育につきましては北小が3クラス、そして西小が1クラス、そして南小が2クラスに、南小はことしから1つクラスがふえますが、それについて、1クラス指導員が1人と、そして補助員が3人つきますので、それでいきますと北小の場合が9人の補助員、そして西小が3人の補助員、そして南小が6人の補助員ということで予算計上をしております。

そしてもう一カ所、図書館費のほうですが、私どもパート職員ということで職員を上げておりますが、人数につきましては月に20日間働いていただく職員の方が1人、それとあと月に15日間働いていただく方についてが4人の賃金を予算計上しております。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） ありがとうございます。

1点目の学校の修理というのは、要は小学校3つと中学校1つ、全てということ。

○教育次長（有里弘幸君） そうです。

○7番（鈴木浩之君）　そういうことやね。お一人の方ということですね、これは。

○教育次長（有里弘幸君）　はい。

○7番（鈴木浩之君）　次の学童保育の補助員は、じゃあトータルで18名ということでいいですね。

○議長（井野勝巳君）　有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君）　基準がそういう形になっていますが、人数的にはもう少し多くなつてきます。例えば、1日全て入られる方とかいますけど、それが1日2時間とか3時間で区切られる方もお見えになりますので、ちょっと正確な人数についてはあれですけど、一応その基準において賃金の計算をして予算化をしております。

○議長（井野勝巳君）　鈴木君。

○7番（鈴木浩之君）　賃金という項目は、基本的にはパートさんのことを言うのかな、時給、それでいいんですよね。臨職と嘱託というのは報酬という支払い方でよろしいかね。それは、ちょっと今所管が戻るけど、総務課長のほうかな。

○議長（井野勝巳君）　奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君）　予算項目としては、賃金の項目で臨時職員の給料もお支払いはさせていただいております。

○議長（井野勝巳君）　鈴木君。

○7番（鈴木浩之君）　わかりました。

それでは、続いて申しわけないですけど、今度40ページ、総務管理費の交通安全対策費、先ほど賃金のことをお聞きしたんですけど、これは前年度比較で376万7,000円の減ということでございますけど、節でいきますと11の需用費の中の005修繕料、それから006光熱水費の減ということが、これは重立った数字になっておりますけど、この大きな幅というのは何なんでしょう、説明ください。

○議長（井野勝巳君）　奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君）　修繕費につきましては、街灯のLED化をするのも修繕費の中に入れてさせていただいているわけなんですけど、来年度、再来年度の2カ年に割って、残りの街灯の計算をしたところ、年間150基ぐらいで済むということで、修繕料のほう若干下がったと。それに伴って、街灯のLED化によって今の電気料のほう、光熱水費のほう下がってきたということでございます。LED化にしたことによって、電気料がもう10分の1とか、そういう大きな減額になりますので、下がってきておるということでございます。

○議長（井野勝巳君）　鈴木君。

○7番（鈴木浩之君）　ありがとうございます。

今の御説明でいうと、ざっと光熱水費も昨年が1,100万ということで250万も下がったということ、そういう理解でよろしいんですよね。

それとあわせて、その下の節15の工事請負費、102の街路灯の設置工事ということも、これも昨年度から10万の減ということで、今のお答えの中にこれは含まれているとは思いますが、

これ逆に例年交通安全対策特別交付金というのが400万あるんですけど、予算のほうが減額、これ400万が全体的にどこに反映されているんですかね、交付金の部分は。

これはちょっとごめんなさい、今歳入に戻っちゃって申しわけなかったんですけど。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 400万が交付金として入ってきておるんですけど、それがどういうことでしょうかね。その内容ということですかね。400万の内容ということなのか、そのお金がどこへ使われているということなのか。どこへ使われているかということによろしいですか。

それは、特定財源として今の交通安全対策費の中に入れ込んで使っているわけなんですけど。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） だから、特定財源の中に入れ込んでという御説明なんですけど、今の実際工事請負費の項目においても10万円の減じゃないですか、去年より。前年28年。そういうことではないんですか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 歳入と多分歳出で、歳入が同じ金額が入っているのに、歳出が減ったという御意見だろうと思いますが、今歳入のほうは400万しかもらっていないんですけど、私どもの事業費として、交通安全対策費として2,200万使っておりますので、本年度1,800万入れていますので、その中に繰り入れて財源として使わせていただいているという形で、特定のものを、ここに割り振ったよということではございませんので、そういう形で理解をお願いしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） わかりました。それなら僕のちょっと聞き方がまずかったけど、初日の町長からの提案説明の要旨の中にも、9ページに交通安全対策として書かれていたわけで、その部分もあったんで今お聞きしたんですけど、結局、今後も高齢化社会が加速していくということで、事故件数も増加が懸念されますということにおいて、そういう防犯灯等の適正な配置及びLED化を推進していきますという御説明がありましたので、だからその部分において、今の70万のところをちょっと何で減額なのということでお聞きをしたんで、そういうことでよろしいか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 今、70万ほど減額ということですが、1カ年でやるにはちょっと金額が多くなるということで、今の残りの部分を2カ年に割り振らせていただいたということで、金額的に若干減ったということをお願いをしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） 済みませんでした。

もう一点、最後に80ページ、消防費ですけど、これも比較、わずか24万4,000円という増でございまして、これも特別旅費と郡の消防協会負担金の動きだけというふうにおっしゃるところ

ですけど、今これ本当に消防団の問題に対しましては、なり手がないうち、一生懸命任を担っていただいているところでございますが、これについても新年度の予算について、どのように反映されているのかだけお聞かせください、消防団に対して。

○議長（井野勝己君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 議員おっしゃられたとおり、ふえている項目としては今の特別旅費ということで、消防の70周年か何かの記念の東京のほうで行われる大会がございますので、そちらのほうに派遣で行っていただく旅費として、特別旅費で上げてございます。

あと、金額的に若干減ってはおりますが、今までどおり消防の施策としては力を入れてやらせていただいておりますということでお願いをしたいと思います。

○議長（井野勝己君） 鈴木君。

○7番（鈴木浩之君） 特別旅費の説明は東京ということでわかりましたけど、今県のほうも、新年度消防団への加入促進に向けた取り組みというのを加速させるということで、確保だけで約4,500万ほどの予算をつけていますので、今、東京の話も出ましたけど、29年度の県の操法大会というのはまた瑞穂市で実施が予定されているということでございますので、これ地元地区ということもありますので、またいろいろ消防団に対しての頑張りの応援というのはお願いしたいなと思いますので、よろしく申し上げます。それだけ言って終わります。

○議長（井野勝己君） 杉本君。

○4番（杉本真由美君） じゃあ、私のほうから数点お尋ねしたいと思います。

まず、ページ数を言いますと、37ページの文書広報費でございます。

その点でちょっと聞きたいと思いますが、文書広報費の中の需用費、印刷製本費と、あと委託料のホームページ更新委託料についてちょっとお伺いいたします。

印刷製本費というのは、多分「広報きたがた」のことじゃないかなと思いますけれども、広報紙とまたホームページというのは、町民の皆さんと北方町、行政がつなぐ、また情報発信をするような大切なツールと私は思っております。

また、先日広報が自宅に届きました。最近見てみますと、やはり見にくいというか、字体がちょっと細いとか、そういうので高齢者の方からちょっと見にくいわという話も聞いておりますし、28年度ぐらいから前年度に比べて広報の構成が、ちょっと写真のあれとか、表紙の構成とか中のものがちょっと変わってきたのかなと思います。その辺、ちょっとお伺いしたいと思います。

皆さんに情報として見やすいようにしているのかということと、あとホームページの更新委託料というのは前年と一緒の金額でございました。私のほうも一般質問でさせていただいたスマートフォン専用のホームページは作成しないということと、そのかわりに町のホームページを皆さんに検索していただける充実した内容にしていくという、情報発信していくということをいただいておりますけれども、そのように皆さんに情報発信をできるような、本当検索しやすいような内容にしたかということと、昨年度、28年度ホームページの更新委託料のほかにキッズページの作成委託料も100万円ほど予算につけていただいておりますが、最近見ましたけれども、隠れて

いるのかどうかはわかりませんが、キッズページという項目が出てこないんですが、その点も教えていただけたらと思います。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） まず、キッズページについてでございますが、作業のほうが大変おくれて申しわけございませんが、きょう多分昼過ぎぐらいには上がるという話は聞いております。申しわけございません。

それと、今の印刷製本費とかその辺については、例年のような金額ということで、御指摘されたような金額を入れさせていただいております。

あと、広報につきましては、広報委員会等により広報の構成とかそんなようなものを考えていただきながらやっていただいているわけなんですけど、そんなに大きく今までと構成を変えたりはしていないのが実情なんですけど、字のほうを大きくするというのも可能ではございますが、そうするとやはりページ数がふえ、金額的にもこの金額では若干おさまってこなくなるんじゃないかなというところもありますので、その辺も精査しながら、またどんなような、町のほうとしても、広報委員会のほうに見やすいような広報紙ということで協議はさせていただきますけど、議員先生のほうから何か提案とか、こんなようにしたらどうという提案がございましたら、私ども総務課のほうの広報担当のほうにお話をいただければ、参考にさせていただいて、広報委員会のほうに上げて、そちらのほうでまた協議をさせていただきたいと思います。

ホームページにつきましても、どの程度見やすいのか、見にくいのかということもあるわけなんですけど、私どもほかの市町のホームページ等も見せていただくわけなんですけど、今のところそんなに大きく大差はないのかなという思いもありますけど、見やすいホームページ、そんなようなものがございましたら、教えていただければ、私どももそちらのようなホームページを参考にしながら、ホームページの委託業者のほうと協議を重ねて改修できるところは改修させていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

○議長（井野勝巳君） 杉本君。

○4番（杉本真由美君） 答弁いただきましたが、キッズページはきょうの午後からということで、やっとぎりぎりのところでホームページ上に載せていただいたということで、楽しみにしております。

また、広報紙のことですが、ある雑誌を見ていましたら、ちょっとお隣の本巢市さんの市長さんのほうからコラムが載っておりました。自治体のすぐれた広報紙を表彰する全国広報コンクールの広報紙部門で本巢市の広報紙、2016年12月号ですが、が岐阜県代表に4年連続で選ばれました。また、今回は広報写真、中の写真も16年3月の広報が選ばれて、ダブルで岐阜県の代表として全国に推薦されておりますということで、14年には全国で第3位に選ばれているということが書いてありました。賞を取ることが目的ではありませんが、市民の皆さんと一緒に上げた広報という姿勢が評価されたことはとてもうれしく思いますということで、市長のほうのコメントが載っておりました。

やはり見やすい、町民の皆さんが取り組んでいることを、本当にアピールしていける広報紙じゃないかなと思います。いかがでしょうか。一度見たことはありますか。このような本当全国で表彰されるような広報紙などを見たことがありますか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 広報紙ですけれども、私は本巢市じゃなしに岐阜市のほうに住んでおりますので、岐阜市のほうの広報紙等は見せていただいておりますが、本巢市の広報紙は残念ながら見せていただいたことがございませんので、また一度見せていただきたいと思っております。

多分、今、議員先生がおっしゃられたように、本巢市がそういう形で市民の方と一緒につくったということで、広報紙が表彰されたということであれば、私どももその辺を参考にしながら、よりよいものに変えていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

○議長（井野勝巳君） 杉本君。

○4番（杉本真由美君） じゃあ、来月号を期待しております。間に合いませんか。はい、じゃあ。でも、字体は先ほど大きくするとかありましたけれども、字体は細いんじゃないかなあと。ちょっと太くすれば大きさは変えなくても見やすいんじゃないかなあとというふうに私は思っております。字が細いと思いませんか。ちょっと太くすれば、大きさも変えずにとしますので、参考にしてみたいと思います。

あと、済みません、続きましてちょっとまた何点か。

39ページの委託料のシティープロモーション事業委託料で300万、来年度予算等を計上しておりますが、28年度は環境フェアと絡めてKITAGATA清流フェスを開催されました。この最初の立ち上げということは、若い方に北方町を知っていただくということで、初めて、今までにないフェスを開催されたと思っておりますけれども、その成果に伴って、また今年度もそのような内容のことをされるかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） シティープロモーション事業につきましては、議員御指摘のとおり、前年度は環境フェアと日にちを変えて同時開催という形で開催をさせて、費用が少なく済んだわけなんですけれども、環境フェアのほうの補助金が今年度でなくなるということで、残念ながらちょっと環境フェアを実施することはできなくなりまして、今回シティープロモーション事業として300万を上げさせていただいて、前年度と同じような若い人が集まるフェスを実行委員会のほうにお金を渡してそちらのほうで企画・運営をしていただくというようなものでございます。

前年度のときには、KITAGATAではイベントでは少ない若い方たちがたくさん集まる活気のあるイベントになったと思っておりますが、今年度もぜひ若い人たちを北方の町の中に呼び込むということで、実施をさせていただこうと思っております。

○議長（井野勝巳君） 杉本君。

○4番(杉本真由美君) 若い方が中心となっていった、北方町を知っていただくということでしたので、北方町を知っていただくというのは、やはり北方町の歴史とか文化財とか、北方町の商品とか、そういうのもやっぱりアピールするところもいいんじゃないかなあということで、商工会とか文化財とかそういう方たちの協力というの、今回は得られるというか、一緒にやっというお考えはありますか。

○議長(井野勝巳君) 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長(奥村英人君) 私は、前回のときから商工会のほうにはお話をしてありまして、商工会青年部も一緒にやってくれと。それで町のものをPRする機会なり、町のものの割引券を配るなりして、一過性のものじゃなしに、北方へまたその人たちが、こういうものがあるので行こうかというような意識を持てるようなことをやってくれということ、商工会のほうに投げかけはしたわけなんですけど、最終的に今年度についてはそういうことをやっていただけなかったんで、私もこのシティープロモーションをやる以上は、何らかのものを、北方に残るものを、足跡を残してくれということで実行委員会のほうにはお願いをしながら、また商工会のほうにも強く要請をしていながら、やはり何かの足跡を残せというようなことでやっていただきたいと思っております。

○議長(井野勝巳君) 杉本君。

○4番(杉本真由美君) 本当に商工会の商店街の活性化というのも北方町の経済の発展になっていくなあという思いもありますので、ぜひ進めていただきたいと思っております。

今、商工会のほうの関連ということでちょっとお聞きしたいことがございますが、75ページの商工業振興費の点ですが、負担金補助金及び交付金ということで、今年度ふれあいまつりが29年度2日から1日ということで予算が減っております。その点でまた前年度に比べて全体の予算が減っていると思っておりますが、1つずつ項目を見ていきますと、102の商工各種事業活動補助金などもろもろ幾つかありますが、少しずつふえているところがありますが、ちょっとその点詳しく、どんな点を、お願いいたします。

○議長(井野勝巳君) 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長(奥村英人君) まず商工会の各種事業活動補助金、こちらのほうが若干ふえておるんですけど、これにつきましては、歩行者天国の委託金をこちらの商工会の活動事業の中へ今年度組み込ませていただいたということで、若干ふえております。

あと、商工会の経営改善普及事業補助金、こちらのほうもふえているわけなんですけど、こちらについては、商工会のほうで予算当初にこういう形でお金を持ってきて、高くなっておるので、何とか安くしてくださいということで交渉をしていたんですけど、最終的に、つい最近になりまして、これについては前年度並みの金額で経営改善のほうで普及事業の補助金のほうができますということで御返事をいただきましたので、その辺も予算措置はしたんですけど、最終的な結論としては前年度並みという形でおさまりそうだということで御理解をいただきたいと思っております。

○議長(井野勝巳君) 杉本君。

○4番（杉本真由美君） 金額的なことはわかりました。

やはり、北方町を盛り上げていくということで、商工会の方、文化財の方、各種団体の方にも本当に協力していただきながらやっていけたらなあ、またしていただきたいなあと思います。質問は以上で終わります。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○5番（安藤哲雄君） 教育費について、新規事業ということで3点ほどお聞きしたいんですけど、まず1点ずつお答えいただければと思います。

84ページの委託料の118番、学級満足度調査業務委託料ですけど、どうもこれ標準学力調査業務委託料を年2回やっていたのを1回にして、こちらをやりたいということをお聞きしたんですけど、何かこれhyper-QUテストを実施予定と聞いたんですけど、これは具体的にどんなものかちょっと教えていただけますか。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） hyper-QUテストは、調査、友人との関係とか、学習意欲とか、学級の中での自分の存在感とか、そういうのを客観的にはかる調査でして、このことによって、いじめの早期発見につながったりとか、不登校に陥る前に適切に対応をしたりというふうにできるということで、年2回これを上げさせていただいております。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○5番（安藤哲雄君） ちょっとよくわからないんですけど、効果をまた教えていただければと思います。

次に、84ページの同じところの委託料で120の夢の教室実施業務委託料ですけど、これは何かサッカーくじのtotto関連事業と聞いたんですけど、アスリートなどを呼んで夢の教室を開くということで、サッカーくじのほうから補助金があるかと思ったら、なしで何か町単でやるということで、小学校5年生の大切な2時間の授業でやるということなですけど、これはどれほど効果が見込めるかということは未知数だと思いますし、これ2時間、通常の学習時間のほうがよいかと思うんですけど、その辺いかがですか。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 今回の総合計画についても、あと教育振興基本計画につきましても、一番の柱が子供たちが夢や目標を持って主体的に学習するということとして、講師で来るのは著名なアスリートというのが中心で、その他いろんな各分野で活躍する人が来るんですけども、サッカーということではなくて、スポーツが一番わかりやすいと思うんですが、目標に向かって努力するけれども、なかなかレギュラーになれなかったり、勝てなかったり、時には挫折したりということで、その生き方を学ぶという中で、子供たちが夢や目標を諦めないで、努力し続けられる、そういった姿勢を育てていきたいということで、大変価値のある事業であるというふうに思っております。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○5番（安藤哲雄君） わかりました。

最後に、86ページと87ページの通級指導教室における臨時職員の賃金ということで、北小と西小に配分されているわけですが、南小ではこれ、県の費用で平成25年度から4年間実施されておいて、これはどれぐらいすぐれた効果があったかということで、効果があったから全小・中学校に県下で初めて実施されると思うんですけど、どれぐらい効果があったか具体的にちょっと教えていただきたいのと、この通級指導教室において該当児童が北小12人、西小6人、南小18人で、北中1人と聞いているんですけど、この該当児童・生徒は常に授業はこの教室で行うわけですか。その辺もちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 該当生徒は通常学級に在籍していて、ほとんどは通常学級で学習するんですけども、発達障害などがあって、なかなか座っておれないとか、手が出るとか、落ちついて集中して話が聞けないという、そういった子を、1週間のうちに1時間か2時間取り出して、今までですと南小にしかなかったですので、南小に通って、そこで個別にその子が落ちついて学習に取り組められるように、また集団の中でみんなとなじんでいけられるように、保護者も含めてじっくりと1対1で指導するという教室です。

今までは、南小にしかなかったですので、北方小学校の子供も北方西小学校の子供も親が普通の日の昼間に連れて行って、南でその子と指導を受けなくてはならなかったんですけども、今回、北小と西小につけることによって、わざわざ授業の途中で抜け出して行かなくても、自分の学校で対応できるというふうになります。

その効果ですけども、やはり集団の中で集団生活になじめない子が授業中出歩いたりであるとか、声を出したりとか、手が出たりすると、ほかの子たちにもやはり落ちついて学習できないということもありまして、その子ばかりにかかっていると、なかなかほかの子に手が行き届かないということで、学級崩壊に結びつくということがあるんですけども、南小にできて、そういった個別に対応することによって、落ちついて学習できるというふうになった子や、またそれを続けていくことによって、通常学級で普通にやれるという子は何人も出ております。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○5番（安藤哲雄君） いろいろ効果があるということなんですけど、ちょっともう一点だけ聞きたいんですけど、この該当児童の学年はやっぱり低学年、中学年が主なんですか。北中で該当生徒になると1人しか現在いないということなんで、やっぱりこれ低学年が多いということなんでしょうかね。ちょっとこれだけ1点確認のために。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） やはり低学年が多くおまして、五、六年になるとだんだんそういった個別指導によってなじんできて、中学生は1人ということなんですけど、ただこの人数といいますのは、診断書が出たり、また保護者がそこへ通うことを承認して確約書を書いた児童・生徒ですので、そのほかにまだ何人かはいると思いますが、だんだんここに通って手当てすることによ

て、学年が進むにつれて集団になじめるようになっていけるというふうに思います。

○議長（井野勝巳君） 安藤浩孝君。

○8番（安藤浩孝君） 教育委員会のほう、ちょっとお聞きをしていきたいなと思っております、まず1点目であります、85ページ、19節101平和学習交付金53万7,000円。さきの大戦から既に72年がたっておって、戦争を知らない世代がふえる中、北方中学では修学旅行、たしか東京ディズニーランド、東京から平成24年でしたか、ちょっと確かではないんですけど、そのころに変更をして、長崎へ行くという行程に変えたんですね。被爆体験者から悲惨な体験から学び、命の大切さを感じ取る平和学習としてきておるんですが、今回旅費の一部、1人当たり3,000円を補助交付するというございですが、きのう、つい先日も北方中学の卒業式に行ってみましたら、校長先生のほうが北方中学のこの平和学習に取り組む姿も最初の挨拶の中で取り入れられておりましたし、町長もその辺も取り入れられておったというふうに記憶しておるんですが、本当に一生懸命、今までなかったことを北方中学は取り入れてやっていただけたということをお大変ありがたく思っております。

そこで、1点お願いというか、しておきたいんですが、ちょっと教育長から御答弁をお願いしたいんですが、平和学習、今、長崎、それから広島、私も先月沖縄へ行って平和記念館もちょっと見てきましたけど、この3つが平和学習の3点セットになるんですが、実は北方においても、これちょっと調べさせていただいたら、北方で満州事変から太平洋戦争で209人戦死してお見えになるんです。それで、500人ぐらいが美濃北方の駅だとか、北方千歳町の駅から出世兵士として送られておるといふ事実もあるんですよ。ですから、平和学習といつてすぐ広島だとか長崎だとかいう話になるんですが、こういう身近なところにも、さきの大戦に私たち町民がどう向き合って、この戦争をやり過ぎたんだとかいう話もあると思うんです。

それで、今、七十数年たったということで、もうかなり皆さん戦争体験の方が高齢化してきておるといふことで、今これ聞き取り調査をして、一体全体あれは何だったのだろうというようなことも、やっぱり後世に継承、伝えるということは大変大事なことだといふふうに思っています。

私、今入っております文化財保護協会にも、来年の文化財だよりはこれ1本で1,000ページやろうといふことで、聞き取り調査もこれから始めようと思っております。

ぜひ、一緒になってやれるところは中学生と協働しながら、これは絶対今やらんとできんと思っておりますので、その辺も来年また修学旅行で長崎へ行かれると思うんですが、それ以外にもやっぱりぜひ身近なところを一回掘り起こしといふんですか、スポットを当ててやっていただきたいと思うんですが、そのあたり1点お聞きしたいと思っております。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 平和学習につきましては、中3で長崎へ行くというのが最後のまとめでして、もともとは小学校の中学年ぐらいから身近なところでそういった戦争体験のことを学習したりとか、いろいろな社会の歴史の中でも学習してきますので、そういったところで身近な人と接して、学校でそういったコミュニティースクールの中で、いろんな方に来ていただいたりとか、

一緒に資料をつくったりというのをまとめていたらというふうに思っております。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○8番（安藤浩孝君） そういったことも、平和記念講演会、またことしも予算をとってありますので、発表もそういったところもちょっとしていただけるといいのかなという気はします。被爆だけではないと思うので、その辺もちょっと触れていただけると、いつも聞いていると同じような内容の話ばかりですので、ぜひそういったほうも掘り起こしていただきたい。発表のほうもしていただきたいと思っています。

あともう一点、教育委員会のほうですが、99ページ、委託料13、一番下から2番目、各種イベント委託料ということですが、きりりホールがオープンして12年ということですが、来年度、何かお聞きすると、南こうせつさんとか室井滋さん、川井郁子さん、お三方が出られるということで、イベント委託料が740万計上されておりますが、ちょっと歳入と関連して質問しますが、30ページのほうの01雑入で、見込みとして生涯学習センター入場料330万円上がっておるわけですが、今度、今まで4回やっておったのが、今度新年度1回ということで、720万に対して330万ぐらいが入場料ということ。この割合が、計算しますと45.8%というんですが、そこでお聞きしますが、この事業費のうち入場料が占める割合というのは、こういった自治体やるイベントとして望ましい数字というのは大体どの程度なのか、お考えを1点お聞きします。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 今年度、実を言いますと、実績の中で見ますと、500万の歳入の予算の中で356万6,000円ということで、大変歳入の予算額を下回っておるわけですがけれども、これもそのときに行われる演目、そして公演等によって大分変わってくると思うんですけれども、過去をずうっと見てみますと、やはり経費に対する歳入の割合というのは、私が教育委員会に来たときの予算を見てみますと、大体35から40%ぐらいの金額が歳入として見てありました。

一番メインになる人がいい人が来ますと、やはりそれが50%近くにもなるということになってきておりましたが、実績の中で、やはり、今、私どもの考えとしては大体40%ぐらいの収入ということで考えておりますし、それを実際に予算化を今回させていただいています。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○5番（安藤哲雄君） 過去は35から40%と、大体40%が望ましいんじゃないかというような御答弁、そういうことですね。

今、今年度のこともちょっと触れられましたが、今年度500万の見込みが356万でしたか、それで事業費が950万かかっているんですね。そうしますと、マイナス594万ということですね。それで入場料の占める割合は37.4%ということで、教育次長の範疇の数字ですか。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 当然その三十何%ということで、今年度に関しては大変低い数字だったということは、私どもとしては思っております。

○議長（井野勝巳君） 安藤君。

○8番（安藤浩孝君） ことしも入っているのは入っているんですね、入場者。夏川さんが404人、ゴンチチ270人、谷本さんが226人、講談落語が123人、私も講談好きなもんで講談へ行きましたけど本当にがらがらでしたね。あの器で120人というと本当にびっくりしました。駐車場もがらがらの状態でしたけどね。ということで、定員からすると大体6割ぐらいの入りなんやね、これならずと。入場者というのは。やっぱりでこひこがあるかもわかりませんが、その辺はやっぱり予算をつくられるときに、やっぱり見込みも甘い数字だったと思いますよ、今年度は。私も2つ行きましたけど、2つとも人気がなかったのかわかりませんが、運が悪かったのかわかりませんが、ちょっと盛り上がりがやっぱり少なかったというふうに思っています。

これから人口減少社会から高齢化の時代が、これからますます本当に先が見えない時代に入ってくる中で、財政が厳しくなる中で、本当に町民のニーズというのは多岐に今わたっておりまして、先ほども杉本議員のほうからも出ていましたね、シティープロモーション、これを含めると今1,000万超しておるんですよね。合計で1,040万ということなんですよ、シティープロモーションを含めると。総額でこれかなり増額になってきておりますが、この辺もやっぱり一度立ち返って、こういったイベントというのは考えるべき時代かな、そういうあれかなという気がしますが、そのあたりどうでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 議員おっしゃられるとおり、私どももこの演目を決める段階で、やはり皆さんの御意見を聞いて演目等も決めていかなくتهはいけないと思っておりますし、それにつきましては一応私どものほうの教育委員会の中でそういうものを諮らせていただいて、決定というか翌年度の演目の決定もしていきたいと思っておりますので、その辺はまた検討させていただきたいと思っております。

○議長（井野勝巳君） 暫時休憩します。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時09分

○議長（井野勝巳君） では、再開をいたします。

歳出の部分について質疑を続けます。

三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 済みません、総務費の35ページ、委託料に関してちょっとお尋ねいたしたいと思っております。

実は、この総務費に限らず、それぞれの課のところで意外と多い費目になっておりますのがこの委託料で、しかも情報処理に関する機器の借り上げや、あるいは処理委託、そういうものが非常に多く上げられています。

今回も、予算的には委託料はわずかにふえているだけですけれども、新たにつけ加わった項目とか、そういうものが存在します。

もともと、この情報処理機器の導入によって、本来ならより業務が簡素化されて効率が上がっていくという考え方に基づいて行われているわけですが、ところが逆にその費用が少しずつではありますが、毎年のようにふえていくような傾向を感じます。ほかの課の分も合わせますと、情報処理に関する金額というのは、ちょっと私も計算していませんのであれですけども、かなりの金額になるのではないかと思います。国あるいは県のほうで、行政が縦割り化されているために、それぞれのところからそれぞれのネットワークとかそういうのを接続に必要になってくるという、こういう無駄な二重投資が行われているのではないかというふうに思うんですが、一度、この委託料なんか全体でどれほどかかっている、増減があるのかどうかということ調査されたことがありますでしょうか。今、数字を示すとかそういうことではないですけども、そういう調査を行われたかどうかをちょっとお尋ねいたします。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 議員御指摘のとおり、委託料につきましては、一番大きなものとしたしましては、総合行政の情報センターのほうにお支払いする委託料が各課のほうに点在しておるのが実情ではございますが、これにつきましては岐阜県内の市町村がその情報処理センターのほうに業務委託をしまして、各種住民データから税データとかいろんなデータを一元化して、そこで管理をいただいているということで、ちょっと金額はあれですけど、情報センターにお支払いしているという料金が一番大きな料金でございます。

それと、あと情報通信のほうで、総務費のほうで若干お金が上がっているということがございますけど、それにつきましてはセキュリティーの強化というのが毎年更新していかないかんような状況の中にありまして、今回うちのほうのインターネットの部分とL G W A Nの部分と分けるということで、そんなような作業もしたことによって、そのような金額で若干の金額の増加があると思います。

それで、毎年年度当初には、情報センターのほうから各課のほうにこれだけの業務がありますよということで、まとめて情報センターのほうから委託料としてこれだけの金額がかかりますよということで、来るものがございます。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） そうしますと、うちのほうで自由になるわけではなくて、もうあらかじめこういうのが要るからということで来てしまうということなんですね。

例えば、これ例で言いますが、総務費の中で戸籍住民基本台帳、44ページのところ、住民基本台帳ネットワーク、いわゆる住基ネットと、それから今の個人番号制度、社会保障税番号制度、これなんかは個人を特定するには2つの番号ができてしまうわけですね。明らかにどこかに無駄があるということは感じるんですが、こういうような無駄があることについて、県とかあるいは国のほうにそういう意見を述べられるべきではないかというふうに思うんですが、その点はどうかお考えになられるか、お尋ねいたします。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 確かに、今の住基台帳のネットワークと社会保障税番号制の関係で、番号を2つ持つような感じにはなるんですけど、将来的に大もととしては今の社会保障の税番号の番号が大もとにはなっただろうかと思えます。あとは、その下に個人番号ということで住基の番号がついておるといような感じにはなっただろうかと思えますので、そういう形で御理解をいただきたいと思うんですけど。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） それでは、次に行かせていただきます。

教育委員会の関係でございます。

ちょっといろいろ前後しますけれども、85ページの教育総務費の中の生きる力育成推進事業費ということで、今回新たにつけ加えられた内容かと思えますけれども、それに伴って、能力開花推進事業費、心の教育推進事業費がなくなっておりますけれども、この辺の、なぜこういうのを廃止されて、こういうのを入れられたのかということ、その辺のちょっと事情をお教えいただきたいと思えます。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） これまで能力開花と心ということで、能力開花は学力向上ということを目的にありまして、心は心を育てることがありましたけれども、今回整理をして、能力開花は先ほどの夢事業ということで、夢や目標を持てるようにするための事業ということで1つ立ち上げて、そして学力と心と、もう一つ体力と、知・徳・体で生きる力ということで、この3つにかかわって学校が提案型で、例えば講師を呼んでいろんな学力を伸ばしたいなというときはそれに応じて、または観劇等をやって心を育てたいなという場合はそれとか、あと英語のことが新たにありますので、英語の力を伸ばしたいなというふうで、これは全ての小学校に一律につけたんですけれども、学力、心に限らず、知・徳・体の総合的に力を伸ばすための事業として生きる力ということを新たに組み直して、予算を組んであります。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 先ほど、安藤議員のほうからお尋ねになりましたが、夢の教室の実施業務委託61万円にこの能力開発推進事業をやめてこちらのほうに考えられたということですね。

この夢の教室実施の委託料、多分小学校3校分一括して上げられていると思えますが、それぞれの学校がこれに対して取り組むかどうか、要するに教育委員会としてはメニューを提供されて、学校ごとにやりたい、やりたくないというのを問い合わせをされた上でやられたのか、それとも上からこれで行きますよということで全部提示されたのか、その辺のところをお聞きしておきたいと思えます。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 夢の教室事業につきましては、校長会と教頭会等で来年度の方針等を説明する中で、夢や目標を持つということは今後の社会においてどうしても一番大事なことなのでということで、こちらから提案して夢の教室事業はやっていますけれども、生きる力のほうの事

業につきましては、各学校のほうで学力を伸ばすためには何が各学校の取り組みとして必要かとか、あと心、今後道徳の教科化もありますし、英語の小学校の教科化もありますので、そういった意味で大事なものを話し合っ、また学校でも出していただいて、その中で必要と思うものに予算をつけるというような形で組んであります。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 先ほどのお話の中にもありましたけれども、ゆとりの時間がなくなって、だんだん授業時間がかなり厳しくなって、学校では少しでも授業時数を確保したいということでいろんな工夫をされていると思うんですね。こういうような夢の教室、わずかな時間ですけども、授業の中に入り込んでいきますと、それだけ授業時数というのは減るわけです。そういうものに対して学校ごとに、うちはそれではなくて授業をやることのほうを選択したいとかいうような選択肢があったほうが私はいいいんじゃないかなというふうに思いますけれども、こちらはメニューをそのまま出されて、各学校でやってもらうということでおっしゃっていますね。

生きる力のほうは、選択でやりますよとかいうのを学校側の希望を聞いてやっておられていると思いますので、その辺のところを少し運用の方法について今後工夫をしていただけたらということをお願いいたしまして、特に回答は求めません。

次に移らせていただきます。

小学校費及び中学校費、これのほうはそれぞれ管理費が少しずつ各学校で、少しというか200万か300万程度ですがふやされています。これは何か新たに行われた施策によって各学校同じようにふえているのではないかというふうに思いますが、恐らく予算の説明を受けたときに対応する項目があったはずですけども、どれが対応してこの各学校の管理費が上がっているかということ、ちょっとお教えいただきたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 見ていただきますと、管理費につきましては北小で260万ほど、そして西小で200万、議員がおっしゃられるとおり200万ほどの増額になっております。

これにつきましては、私どものほうで考えていますのは、扶助費のほうの就学援助の金額が上がってきている、これは各学校のほうにつけておりますので、それが昨年と比べますと多少上がっている部分と、そして新規事業といたしまして、私ども各学校のほうに、これはちょっと予算的には少ないんですが、放課後子ども教室の報償金ということで、各学校のほうで月2回ほど勉強の学習の場を設けるということで、それを新規事業として上げている部分もあります。

そして、あと中学校費のほうですが、それにつきましてはICTのほうの関係で昨年導入をいたしました。今年度導入をして、そして来年度今度は12カ月分の借り上げ料が計上されているという部分もありますし、大筋で言いますと今のものがふえている部分もあります。

当然通級指導教室のほうの北小と南小に入れましたし、そしてあと新規事業といたしましてもう一点、業務支援アシスタントというものを各学校のほうに配置をして、そして賃金のほうで増額をしている分があります。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 何か、余り絞ってなぜふえたのかなという原因がはっきり特定されていないんですけれども、私が見る限りでは、賃金の部分、臨時職員賃金の部分がほぼ同じような金額で増加していますので、恐らくこれにかかわることだというふうに思っておりますけれども、それはどんな新規事業とかかわっておるのか、その点御説明いただきたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 賃金のところで大きくふえていますのが、新たに配置します業務支援アシスタントの person 費、賃金と、それから先ほど話題にありました通級指導教室の教諭の給料が、両方その事業2つ足しまして600万以上の予算が組んであると思います。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 通級も臨時職員賃金の中に入ってくるということなんでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 名取教育長。

○教育長（名取康夫君） 各学校の通級指導教室の担当教諭も管理費の賃金の中に入っております。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 済みません、もう一点最後にお尋ねいたします。

教育費の84ページ、委託料の中の設計施工管理委託780万円という、トイレの設計だというふうにお伺いしておりますけれども、前回私一般質問の中で学校のトイレの改善について早急にやっていただきたいということを申し述べました。とりわけ小学校の低学年の子たちは、本当にトイレにしゃがむという選択肢というのはないと。どこへ座っていいのかわからないというので当惑するような状況だろうということを申し上げました。ですから、特に小学校の低学年のトイレについて早急に改善していただきたいというふうに申し述べておりましたけれども、この設計委託に伴ってその後実施されるわけですけれども、まずどのようなスケジュールで実施をしようとしておられるのかお尋ねいたしたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） この当初費780万で全学校のトイレの改修についての設計を行います。そして、次年度以降工事を進めていきたいと思っております。

設計をするということは、国に対してある程度建築計画ということで、来年度補助金のほうの申請をいたします。平成30年度において、それが交付決定をされてくるかどうかという部分もありますので、そういうスケジュールの中で私どものほうは来年度設計をして、次年度以降国の補助金でもって充てながら工事をしていきたいと考えております。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 国の補助金を申請して、もらえればそれを使ってやるということで、それは結構なことですが、ただ先ほども言いましたように、特に小学校の低学年の子について一日でも早くやってやりたい。そうすると、もし来年設計をして、再来年30年度に国からの補助金が来なかったら先延ばしになるというのは困るんですけれども、そういうところというのは

どう考えておられますか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 私どもといたしましても、補助金を要望させていただいて、つけば同時に3校なりということで小学校からかかれるかなという思いもあるんですけど、補助金が来なかった場合、順次1校ずつでも手をかけていこうかなと。議員おっしゃられるように、低学年を一律してやるというのも一つの方法ではございますが、それをやると、やはり施工費として若干高くなるということも考えられますので、でき得れば補助金がつかなかった場合は、1校ずつとか、そういう形で進めていきたいなという思いはございます。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 工事費に若干の無駄が出るという、それは確かにおっしゃるとおりですけども、ただ私の思いとしては、やはり小学校の低学年の子を一斉にやれるなら、全ての3つの小学校で実施してあげたいというふうに思うんですよね。それを優先して、あとの学年については、例えば順次考えると、そういうような手順というのはあってもいいと思いますけれども、ぜひその辺は検討していただかないと、このままではなかなか納得できない予算じゃないかなというふうに思うんですけれども、その辺そのあたり検討いただけませんか。

○議長（井野勝巳君） 奥村総務課長。

○総務課長兼防災安全課長（奥村英人君） 設計自体も多分1校ずつ幾らという形で上がってくると思いますので、でき得れば私どもは今言っておるように1校ずつやらせていただくというのが一番ベストかなという思いはありますけれども、その辺の方法については、また設計をやっている段階、来年度中に協議を進めて、補助金がつかなかった場合はどのように進めていくかということも議員のほうとも相談しながら進めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） ちょっと納得できないところですけど、やむを得ませんね。ここでやりとりしていてもいつまでたっても進みませんので。

もう一つは、委託設計料780万というふうにお金を使いますので、金額がある程度出るということは、どのような規模の工事を考えておられるのか、トイレをどういうふうに変えようとしているのか、便器だけ変えるのか、トイレ全体の改修があるのか、また便器のレベルですね、要するに最小限の洋式であればいいという考え方なのか、それとも最近の家庭では当たり前になっているウオシュレットとかそういうような装置をつけるような便器を考えておられるのか、ある程度のその辺のあれはあると思うんですけれども、その辺のところをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 当然今のトイレを見ますと、洋式が1個そしてあとは和式の便所になっていますので、それを洋式に全てするかどうかという部分についてはちょっと学校とも相談を

しながら、和式は1つ残すとか、そういうことは考えていきたいと思ひますし、そしてあと当然ほとんどのトイレが洋式になるということですので、その辺のことについては、今現在役場のこの新庁舎のトイレにつきましても洗浄つきというか、そういうものもついていますので、その辺のところまで考えていきたいなあとは思ひております。

あとは、当然湿式とか乾式とかいろいろと床の部分もありますので、それも最善の方法で改良をしていきたいなあと考えております。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 便器のレベルは現在の家庭で標準的なところを考えるとということですね、そう受け取ってよろしいですね。

ただちょっとわからないのは、委託料780万という金額が確定しているにもかかわらず、幾つの変器を変えるのか、何かちょっとわからない、今の段階では決断されていないようなお返事でしたけれども、それはもう事前に、前も一般質問のときに申しましたけれども、実際に実施されるときには子供たち、それから保護者の方に意見をお聞きして、どうしても洋式ばかりでいいよとか、いや和式がないと困るとかそういう意見をお聞きした上で決めていくという必要があるというのは、前の質問のときにも申し述べましたけれども、それをまだこれからやられるということですか。そうすると、ちょっと設計もそれによって変わってくることになりまふね、幾つ便器をつけるかによって。そういうふうを受け取ってよろしいんでしょうか。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 当然、私どもとしましては、全部の便器が洋式に変わるという設定の中で考えています。ただそこを、さっき議員がおっしゃられるように、各学校の中で1つは残してほしいとか、そういう御意見も聞きながらやっています。

だから、当然全てお金がかかる部分、全部を変えてしまうという部分の中で、それは設計として今回予算化をさせていただいております。

○議長（井野勝巳君） 三浦君。

○3番（三浦元嗣君） 北方小学校というのは、便器の数が3個、西小が4個、それから南小は7個になっているはずなんですね。ですからその辺を、例えば南小の7つの便器を全て洋式に変えるとか、あるいは1個和式は残してほしいから6つ洋式で1個和式とか、その辺のところというのはどう考えておられるんですかね。公平性を考えると、どの小学校も同じような便器の数が洋式になったほうがいいし、その辺どうお考えなのか1点お伺ひしておきたいです。

○議長（井野勝巳君） 有里教育次長。

○教育次長（有里弘幸君） 本巢とか瑞穂のほうで、そういう改修を行った実績があります。その中でやっぱりお聞きしますと、各学校によって1つは和便器を残してほしいとか、そういう希望もあるそうですので、そこはしっかりと保護者、そして学校の当の意見を聞きながら整備はしていきたいと考えております。

○議長（井野勝巳君） 三浦君、今度質問のときは項目を変えてください。

いいですか、ほかよろしいか。

○3番（三浦元嗣君） はい。

○議長（井野勝巳君） ほかございませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） それでは、質疑を終わります。

ただいま議案となっております議案第15号については、各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託をいたしたいと思えます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第15号は各常任委員会の関係部分をそれぞれ所管の常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第13 議案第16号

○議長（井野勝巳君） 日程第13、議案第16号 平成29年度北方町国民健康保険特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第16号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第16号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第14 議案第17号

○議長（井野勝巳君） 日程第14、議案第17号 平成29年度北方町後期高齢者医療特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第17号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第17号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第15 議案第18号

○議長（井野勝巳君） 日程第15、議案第18号 平成29年度北方町下水道事業特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第18号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第18号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

日程第16 議案第19号

○議長（井野勝巳君） 日程第16、議案第19号 平成29年度北方町上水道事業会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第19号については、厚生都市常任委員会に付託をしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第19号は厚生都市常任委員会に付託することに決定いたしました。

日程第17 議案第20号

○議長（井野勝巳君） 日程第17、議案第20号 平成29年度北方町南東部開発事業特別会計予算を定めるについてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

〔挙手する者なし〕

○議長（井野勝巳君） 質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第20号については、厚生都市常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（井野勝巳君） 異議なしと認めます。したがって、議案第20号は厚生都市常任委員会に付託することに決定をいたしました。

○議長（井野勝巳君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

第3日は13日午前9時30分から本会議を開くことといたします。

本日はこれにて散会をいたします。大変御苦労さまでございました。

散会 午前11時35分

会議の経過を記載してその相違のないことを証するためここに署名する。

平成29年3月10日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員